

平成30年度（平成31年度実施事業）
愛川町町民参加推進会議協働事業審査部会
（提案型協働事業）審査結果報告

1. 審査対象事業

NO	事業名	提案団体／事業担当課
1	認知症予防カフェ事業	認知症予防カフェ実行委員会 ／民生部高齢介護課
2	学習支援「土曜寺子屋」	非営利組織「小さな森の学校」 ／教育委員会生涯学習課
3	地域の安全・安心を皆で支える事業	NPO法人防犯パトロール ブルーライン ／民生部住民課
4	登山道（仏果山ほか）の整備等事業	Aichan Adventure（あいちゃんアドベンチャー） ／環境経済部商工観光課
5	町観光キャラクター「あいちゃん」 サポーター事業	神奈川県立愛川高等学校バレーボール部有志 ／環境経済部商工観光課
6	八菅山いこいの森樹名板等作成事業	サークル愛川自然観察会 ／建設部都市施設課

※ No. 1～No. 2は住民提案型協働事業、No. 3～No. 6は行政提案型協働事業

2. 審査部会の開催

(1) 審査部会の実施状況

開催日：平成30年11月17日（土）午前9時00分～午後4時20分

会場：愛川町役場 401～403会議室

◆書類審査（非公開）

・内容 ①審査部会の進め方について、②書類審査

◆公開ヒアリング（公開）及び最終審査（非公開）

・内容 ①公開ヒアリングの趣旨と審査基準の説明、②個別ヒアリング、
③審査結果の取りまとめ、④講評

(2) 審査部会委員

委員氏名	選出区分	備考
二瓶長記	専門委員	会長
小倉理男	公募委員	副会長
翁長陽子	町の各種施策に知見を有する者	
加藤光男	町の各種施策に知見を有する者	
村川博	公益活動に実績のある者	

(3) 審査方法

ア 審査基準に基づく採点

書類審査及び公開ヒアリングでの質疑応答などの内容を踏まえ、別紙「審査基準」のとおり、10の審査項目について、各5点満点（各事業50点満点）で採点し、委員の合計評価点の平均が30点未満又は過半数の委員が30点未満の評価をした事業は、不採用とすることとした。

なお、委員が団体の構成員に含まれている事業については、その委員は当該事業の審査に加わらず、その他委員の総評点に基づき採点を行うこととしているが、今回、該当する事業はなかった。

イ 委員間の意見取りまとめ

公開ヒアリング終了後に各委員の採点結果を集約し、各事業に対する採点結果の確認とともに、各委員の意見を取りまとめ、審査部会としての評価や条件等についての協議、取りまとめを行った。

3. 審査結果

(1) 住民提案型協働事業

NO	事業名	提案団体
1	認知症予防カフェ事業	認知症予防カフェ実行委員会
<p>【事業概要】 団体が運営する認知症予防カフェの場を活用し、実際のお客さんのいるカフェでの実践を通じて、ボランティアの育成を図ることにより、町内各地での認知症予防カフェの開催や高齢者サロンへの支援を目指す</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防カフェ内でのボランティア育成（実施回数：年間12回） ※独自に見学・実習希望者を募るほか、町の教室や講座などの受講経験者等を受け入れる ※団体の持つ認知症予防カフェの運営ノウハウを活用しボランティアを育成する ・町の講座（認知症サポーター養成講座）を春日台タウンカフェで年2回開催（7月・11月） <p>【団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体が運営する認知症予防カフェへの見学・実習希望者等の受け入れ及び育成 ・春日台タウンカフェで町の講座が開催できるよう調整 <p>【町の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所の確保などの支援 ・町の各種教室・講座の受講者等に対する、本事業の周知 ・高齢者サロン運営講座の開催、関係団体の連携を図る仕組みづくり ・春日台タウンカフェでの町の講座開催 		
<p>【審査部会講評】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アクティブシニアとの交流を検討してみてもどうか。 ○ 参加者が能動的に参加できる内容を検討してみてもどうか。 ○ 提案型協働事業終了後も継続すべき事業である。手立てをどうするか検討してほしい。 		
<p>【審査の結果】 協働事業として実施することがふさわしい提案であると考えている。</p>		

NO	事業名	提案団体
2	学習支援「土曜寺子屋」	非営利組織「小さな森の学校」
<p>【事業概要】 さまざまな課題を抱え、学校以外の学習サポートを必要とする小中学生を対象に、専門職等のスタッフが学習支援及び体験学習等を実施し、安心して勉強でき、居場所となる場所を提供するとともに、保護者への支援を行う</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習支援 年間34回（指導科目：小学生 国語/算数、中学生 数学/英語） ・土曜寺子屋 24回（毎月第1、第3土曜日の2回）（対象：小3～中3） 		

- ・中学生補習会 10回を予定
- 2 中学生IT学習 23回を予定(月2回、水曜の19時～20時半に配信)
- 3 体験学習 年間15回を予定
 - ・食育「お料理教室」2回
 - ・コーラス体験「エベッツソウル合唱団」2回
 - ・バトミントン2回
 - ・アート講座5回
 - ・ドテラアート3回
- 4 悩み事相談などの保護者支援 年間3回
 - ・車座トーク 3回
 - ・保護者相談 年間34回(※学習支援に合わせ、個別相談の実施)
- 5 拡大研修会、成果発表会など、地域住民、学校教育関係者などを対象とした事業を実施

【団体の役割】

- ・土曜寺子屋の運営による学習、相談、居場所、食育、表現、スポーツなどの支援
- ・子育ての悩みや進路相談など、保護者への支援

【町の役割】

- ・関係機関や対象者への周知
- ・事業実施会場の手配(使用料減免等の対応)

【審査部会講評】

- 提案型協働事業終了後も継続すべき事業である。手立てをどうするか検討してほしい。
- IT学習を推進してほしい。
- アンケートを集計するだけでなく、科学的な分析をしてほしい。グラフ化等により、評価してほしい。
- 「車座トーク」での保護者支援は、有用である。充実させてほしい。

【審査の結果】

協働事業として実施することがふさわしい事業であると考えます。

(2) 行政提案型協働事業

NO	事業名	提案団体
3	地域の安全・安心を皆で支える事業	NPO法人防犯パトロール ブルーライン
<p>【事業概要】 地域の各種団体（自治会、育成会、子ども会等）の行う防犯パトロールへの支援や、町の防犯パトロールとの連携などにより、町内における防犯活動の内容を底上げし、安心・安全のまちづくり推進に寄与する。</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 夜間青色防犯パトロールの実施(月2回) 2 地域の各種団体の行う防犯活動への支援 3 防犯・不審者情報の効果的な発信 <p>【団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体が実施する防犯パトロールへの支援（青パトによる巡回等） ・町の実施する防犯パトロールへの支援 ・町の青パトとの連携等 ・防犯情報及び防犯パトロールの実施状況等の情報発信 ・車載拡声器の使用や車両への啓発マグネット貼り付けによる啓発 <p>【町の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体からの支援要望取りまとめ及び本事業の周知、連絡調整等 ・防犯活動時の立会い等 ・会議室などの提供 		
<p>【審査部会講評】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の絆づくりが課題。 ○ 事業の自立化が求められる。モデル地域を作って、自主性をもって展開してほしい。 ○ SNSの活用は評価できる。 ○ エリアの拡大をしてほしい。 ○ 学校を対象にすることに期待したい。 		
<p>【審査の結果】 協働事業として実施することがふさわしい事業であると考えます。</p>		

NO	事業名	提案団体
4	登山道（仏果山ほか）の整備等事業	Aichan Adventure (あいちゃんアドベンチャー)
<p>【事業概要】 登山客が少ないことなどにより荒れている箇所について、登山道の調査・整備、山を活用したイベント開催、ガイドや登山マップの作成等を行うことで、活用を促進し、常に登山客などが山に人が入っている状態を保つ。</p>		

【事業内容】

- 1 登山道、廃道の精査や整備（枯れ枝や、倒木の除去等の軽作業を含む。）
- 2 イベント開催等（あいかわ遠足事業、トレイルラン等）
- 3 観光ガイド、ウォーキング（健康事業）、登山道の巡視、地図発行など

【団体の役割】

- ・造林組合等との交渉
- ・作業ボランティア、イベント参加者の募集と広報活動
- ・関連団体、組織の呼びかけと連携
- ・事業の企画と運営

【町の役割】

- ・団体の地権者対応への支援
- ・関係法令等の情報提供、許認可関係の調整

【審査部会講評】

- 地域住民等との連携に課題がある。
- ネイチャーガイドの制度を導入してほしい。
- 山の活用の仕組みづくりに取り組んでほしい。
- 親子登山教室の充実をしてほしい。

【審査の結果】

協働事業として実施することがふさわしい事業であると考えている。

NO	事業名	提案団体
5	町観光キャラクター「あいちゃん」 サポーター事業	神奈川県立愛川高等学校 バレーボール部有志

【事業概要】

地元高校生が「あいちゃん」の着ぐるみを活用して町内外のイベントに出演し、町の魅力を発信する。

高校生のアイデアを十分に活かした「あいちゃん」の活用や町の魅力PRにより、町の認知度を高めていく。

【事業内容】

- 1 新部員のための町の歴史・文化などの学習（あいちゃん）のPR方法を検討）
- 2 「あいちゃん」の動き、しぐさなどの検討・確認、アテンドの練習
- 3 各種イベントへの出演
- 4 年間活動報告と成果の発表

【団体の役割】

- ・「あいちゃん」の着ぐるみを着用したイベント出演、アテンド
- ・「あいちゃん」の効果的なPR方法の検討・提案
- ・SNS等で発信するための、地域の情報の提供

【町の役割】

- ・イベント会場への送迎
- ・具体的な業務の指示

・町の基本的な観光情報の提供

【審査部会講評】

- 高校生が取り組む事業として話題性があるので、今後はマンネリ化を防ぐ手立てを検討してほしい。
- 地域資源とあいちゃんとのPR活動をどう連動するのか検討してほしい。
- 地域産品の活性化に結びつけてほしい。
- シティーセールスと連動してほしい。
- バレーボール部員以外の生徒や町民の参加を促してほしい。
- あいちゃんグッズの開発をしてほしい。
- あいちゃんツイッターの積極的な発信を高校生にしてほしい。

【審査の結果】

協働事業として実施することがふさわしい事業であると考えてる。

NO	事業名	提案団体
6	八菅山いこいの森樹名板等作成事業	サークル愛川自然観察会

【事業概要】

八菅山いこいの来訪者が、いこいの森の自然の豊かさを知り、魅力を実感できるよう、監察路沿いの樹木に名板を取り付けるとともに、要所に説明板を設置する。

【事業内容】

- 1 樹木への名板の取り付け
- 2 生物多様性に富んだ生態系を紹介する説明板の設置
- 3 あおぞら館の展示物の継続的更新
- 4 季節ごとの自然観察会の開催

【団体の役割】

- ・自然動向の情報収集と町民目線での資料の公開
- ・施設の本来的機能の点検、並びに維持・発展に寄与
- ・樹木名板の取り付け及び説明板の設置

【町の役割】

- ・協働による課題の共通認識、公共サービスの充実
- ・事業の深化と施設や機能の充実
- ・生物多様性の保全や外来生物による被害防止への啓発

【審査部会講評】

- 継続性をもって今後も実施してほしい。
- 緑のマスタープランなどの計画に、ネイチャーガイドなどを取り入れてほしい。
- 学校教育との連携は評価できるので、今後も引き続き推進してほしい。
- 他の団体との横の連携をして、設置した樹木名板の有効活用をしてほしい。

【審査の結果】

協働事業として実施することがふさわしい事業であると考えてる。